

# 課別事務事業評価取りまとめ表 環境課

NO	103	<h3>市内河川調査箇所数 (水質調査)</h3>			評価に対する今後の方向性	維持・充実
事務事業名	河川等水質調査事業				今後も水環境保全の基礎資料となるべく、継続して水質調査を実施します。	
事業内容	専門機関に水質調査を依頼・実施。継続調査を行うことで監視の強化を図り、水質管理を行う。				課題と改善策	
事業費	6,108千円	活動指標 (折線グラフ)	河川調査箇所数 (目標45箇所:実績45箇所)	達成率	【課題】 現在、市内全域において概ね良好な水質を維持している状況にありますが、様々な環境基準値の維持、達成に必要な環境管理施策を講じて行く必要のもと検査項目の追加も含めた検討を行う考えです。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	河川水質基準AA値 (BOD) (目標45箇所:実績44箇所)	達成率	【改善策】 水生生物の保全に係る環境基準等も含めた検査項目の検討を行います。	
				A		
				B		

NO	104	<h3>地域環境委員会 開催回数</h3>			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	地域環境美化活動推進事業				今後も地域環境委員会を開催し、委員にごみ及び資源物の排出について広く周知を図ることでより正確に排出できるよう努めます。	
事業内容	地域環境委員会を各町別にて開催。環境関連事業について、行政との連絡調整やごみ減量化の推進、ごみ及び資源物収集所の管理などの依頼、指導を行うことで、市民への環境に対する理解を深めてもらい、より一層自然環境を創造する活動を推進する。				課題と改善策	
事業費	2,000千円	活動指標 (折線グラフ)	地域環境委員会開催回数 (目標8回:実績8回)	達成率	【課題】 各町の資源物の排出方法が異なっている部分があるため、委員の対応内容、数の違いがある状況にあるので、統一していく必要があります。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	地域環境委員数 (目標250人:実績250人)	達成率	【改善策】 委員数の適正化、須玉町、高根町、小淵沢町における資源物の排出方法、排出場所の変更を行います。	
				A		
				A		

NO	105	<h3>不法投棄物撤去処理量</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	環境パトロール実施事業				不法投棄の多発地区(他県、他市からの投棄が目立つ白州、明野地区)を重点的にパトロールするなど発生防止対策の強化を行います。	
事業内容	峡北シルバー人材センター及び中北地域廃棄物対策連絡協議会監視パトロール員による監視活動、不法投棄物の撤去処理を併せて実施する。				課題と改善策	
事業費	6,674千円	活動指標 (折線グラフ)	不法投棄監視パトロール実施日数 (目標696日:実績690日)	達成率	【課題】 人員、日数を増加することは困難な状況にあるので、発生場所の調査から重点的なルートを考えてパトロールを実施して行くことが必要と考えます。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	不法投棄物撤去処理量 (目標10トン以内:実績18.8トン)	達成率	【改善策】 問題箇所の重点的なパトロールの実施、不法投棄防止看板の設置を行っていきます。	
				B		
				C		

# 課別事務事業評価取りまとめ表 環境課

NO	106	<h3>適正処理困難廃棄物 排出量</h3>		評価に対する今後の方向性 維持継続
事務事業名	適正処理困難物等収集事業			市民サービスの提供という面では、一定の成果があると考えますが、今後も継続して行くためには、取り組むべき課題もある状況です。
事業内容	一般廃棄物は、市町村に処理義務があるが、広域処理施設で処理出来ない廃棄物(タイヤ、農機具、バッテリー、スプリング入りマット、ポイラー、温水器等)及び1辺が1.5mを超える大型粗大ごみについては、年1回、町ごとに有料収集を実施し、市で一括処理する。			課題と改善策 【課題】 ・排出品目ごとの負担金額の見直しを行う必要があると考えます。 ・適正な自己処理(リサイクル、処分業者への直接持込等)を推進して行くことで排出量の減量、事業費の削減につながって行くと考えますので、排出方法、排出先に関する情報の提供等、一層の周知を行う必要があると考えます。
事業費	1,664千円	活動指標 (折線グラフ)	収集運搬箇所数 (目標8箇所:実績8箇所)	達成率 A
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	適正処理困難廃棄物収集運搬量(排出量) (目標10トン以内:実績19トン)	達成率 C 【改善策】 ・排出品目ごとの負担金額の見直し ・排出方法等の周知の強化

NO	107	<h3>環境審議会開催回数</h3>		評価に対する今後の方向性 維持継続
事務事業名	環境活動推進事業			第2次北杜市環境基本計画による基本方針及び施策について、進捗状況を随時確認し、施策を推進します。
事業内容	市民・事業者・市それぞれの役割、責任、環境への取組を確認しつつ、社会環境、自然環境、生活環境、地球環境、環境行政についての施策を確認しながら環境保全への取り組みを進める。			課題と改善策 【課題】 市民、関係団体、企業との協働体制を確立して行く必要があります。
事業費	65千円	活動指標 (折線グラフ)	環境審議会開催回数 (目標2回:実績1回)	達成率 B
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	一般廃棄物総排出量 (目標11,452トン:実績14,653トン)	達成率 B 【改善策】 目標値との乖離が著しい事業系一般廃棄物については、次期一般廃棄物基本計画の策定過程において、発生状況等の調査を行い数値の見直しも含めた中で検討をします。

NO	108	<h3>小水力発電施設 視察者数</h3>		評価に対する今後の方向性 拡大・充実
事務事業名	小水力発電普及拡大事業			官民パートナーシップではありませんが、市の事業として、プロポーザル方式により業者を選定・契約し、峡北地域広域水道企業団の水道施設(須玉第2減圧槽)へ、マイクロ水力発電所を設置します。
事業内容	官民パートナーシップによる小水力発電共同導入事業により、平成24年3月に新たに3カ所の小水力発電が竣工、運転開始したことから、事業概要・施設紹介等を含む小水力発電の普及啓発を実施する。また、共同事業は、全国でも珍しい先進的事例として注目を集めており、広くPRすることで北杜市の環境分野でのブランドイメージアップを図る。			課題と改善策 【課題】 マイクロ水力発電については、水道管へ発電設備を設置するため非常時への対応策が懸念されます。
事業費	193千円	活動指標 (折線グラフ)	小水力発電所設置数 (実績3箇所)	達成率 -
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	視察者数 (目標240人:実績131人)	達成率 B 【改善策】 市、峡北地域広域水道企業団及び業者との打ち合わせを綿密に行います。

# 課別事務事業評価取りまとめ表 環境課

NO	109	新エネルギー推進機構 開催数		回数	評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	新エネルギー推進等事業				地域に存するエネルギーを生かした新エネルギーの更なる普及促進に積極的に取り組み、本市の恵まれた自然に配慮し、後世に持続可能となる社会の実現を図りながら、今後も助言及び提案をしていただきます。	
事業内容	再生可能エネルギーの普及促進やクリーンエネルギー利活用の検討など、新エネルギーに関する検討・推進を行う。 また、市の新エネルギー事業に対する審議、提言を行う。				課題と改善策	
事業費	2,095千円	活動指標 (折線グラフ)	新エネルギー推進機構開催回数 (目標2回:実績2回)	達成率	【課題】 今後も定期的に新エネルギーに関する会議を開催していきます。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標の 説明	北杜市地球温暖化対策実行計画策定において、エネルギーに関する運用改善に向けた意見を反映しました。	達成率	【改善策】 今後も定期的に新エネルギーに関する会議を開催していきます。	
				-		

NO	110	LED街路灯設置 箇所数とCO2削減量		基	評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	再生可能エネルギー導入促進事業				今後も地域の災害対策も含め、市内の再生可能エネルギーを活用した事業計画を策定し、実施していきます。	
事業内容	北杜市再生可能エネルギービジョンに基づき、既存の創エネ、省エネを引き続き実施しながら各種事業を実施する。				課題と改善策	
事業費	30,084千円	活動指標 (折線グラフ)	ソーラーLED街路灯設置数 (目標10基:実績10基)	達成率	【課題】 LEDソーラー街路灯については、設置した施設の管理担当課へ所管替えを行っていますが、パワーコンディショナーの交換など、定期的な予算の確保が必要となります。人事異動などもあり、適切な管理ができていないか課題となります。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	LEDソーラー街路灯設置によるCO2削減量 (目標0.4t-co2:実績0.4t-co2)	達成率	【改善策】 市で設置した再生可能エネルギー(太陽光、水力)設備の維持管理について、台帳整備など統一していくことが必要と考えます。	
				A		

NO	111	環境教育事業への 参加人数		回数	評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	環境教育普及啓発事業				教育は目に見えた結果がすぐには出ませんが、身近なところから環境教育を続けていくことで、環境問題に取り組んで行く意識改革を図ります。	
事業内容	市がグリーン北杜、キープ協会等と連携し、省エネ、再生可能エネルギー、自然資源活用、廃棄物削減、自然保護などの環境問題に関わる内容について、環境学習プログラム等により体験型授業を中心とした環境学習会や環境教育リーダー養成講座を実施するほか、子ども環境フェスタを開催する。				課題と改善策	
事業費	3,442千円	活動指標 (折線グラフ)	事業実施回数 (目標28回:実績39回)	達成率	【課題】 児童生徒に関しては、学校行事や授業時間の制約により小中学校からの希望がなく、ワクワク教室のみでの実施となっています。また、環境教育リーダー養成講座、親子エネルギー教室など、参加者が少ない講座・教室があります。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	環境教育事業への参加人数 (目標1,400人:実績1,824人)	達成率	【改善策】 今後は地域活動も含め、多くの場面で本事業を活用していただくよう教育委員会とも連携し、事業への理解促進及び事業周知方法の再検討を図ります。	
				A		

# 課別事務事業評価取りまとめ表 環境課

NO	112	エネルギー消費量と削減率			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	地球温暖化対策地方公共団体実行計画実施推進事業	<p>エネルギー消費量と削減率</p> <p>エネルギー消費量削減率(原油換算) エネルギー使用量(原油換算値)</p>			庁内PDCAサイクルにより、取り組んでいきます。	
事業内容	CO <sub>2</sub> をはじめとする温室効果ガスの排出量を、2030年度に2013年度対比で40%削減することを目標とした計画を策定し、実施する。また、改正省エネ法に係る定期報告において、前年度対比で年1%以上のエネルギー使用量(原油換算)の低減に努める。				課題と改善策	
事業費	9,630千円	活動指標 (折線グラフ)	エネルギー使用量(原油換算値) (目標6,518Kl:実績6,782Kl)	達成率	【課題】 計画を実行するに当たり、企画部管財課との関係及び全職員の意識改革が必要です。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	エネルギー消費量削減率(原油換算) (目標△1%:実績+1.6%)	達成率	【改善策】 職員研修等を行い、北杜市地球温暖化対策推進本部、検討部会、実行部門、所属部署の全職員で取り組む必要があります。	

NO	113	エコクッキング講座参加者数			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	緑のカーテン推進事業	<p>エコクッキング講座参加者数 実証展示 エコクッキング講座開催回数</p>			今後も市民に対し、地空温暖化対策として効果のある事業のPRを行っていきます。	
事業内容	北杜市民や来庁者に対して、地球温暖化対策、CO <sub>2</sub> 削減につながる身近な取り組みとして、本庁舎に「緑のカーテン」を実証展示し、見せる場の提供を行う。さらに、「緑のカーテン」から収穫した野菜を使用した「緑のカーテンエコクッキング講座」を開催し、より身近に「緑のカーテン」の魅力を伝える。				課題と改善策	
事業費	280千円	活動指標 (折線グラフ)	エコクッキング講座開催回数 (目標2回:実績2回)	達成率	【課題】 エコクッキング講座の参加者から負担金は徴収していませんが、緑のカーテンで収穫されたゴーヤ以外の経費がかかっている状況です。また、アンケートを行い、参加者の意見も参考にしていきます。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	エコクッキング講座参加者数 (目標40人:実績42人)	達成率	【改善策】 エコクッキング講座については他の事業への移行(統合)、または受益者負担として、材料費の一部を徴収することを検討します。	

NO	114	生活系一般廃棄物収集運搬量			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	一般廃棄物収集・運搬事業	<p>生活系一般廃棄物収集運搬量(可燃・不燃) ごみステーション数</p>			生活系一般廃棄物の減量化に向けての取り組みを強化し、廃棄物処理法に規定されている市と排出者(住民)それぞれの責務を明確化することで、より安全で効率的な収集運搬に取り組めるよう努めます。	
事業内容	市内で発生した生活系一般廃棄物を、行政区等が管理するごみステーションからの拠点収集により、環境保全上支障が生じないよう効率的、確実に運搬する。また、リサイクル推進事業との連携により減量化を推進する。				課題と改善策	
事業費	124,671千円	活動指標 (折線グラフ)	ごみステーション数 (目標651箇所:実績651箇所)	達成率	【課題】 減量化の取り組み、広報活動の強化。市民の事業への理解、協力。	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	生活系一般廃棄物収集運搬量(可燃・不燃) (目標5,800トン:実績7,391トン)	達成率	【改善策】 減量化については、具体的な排出物品の内容、傾向等を把握した中で取り組んで行く必要があるため、ごみの組成調査を行う必要があります。調査終了後に具体的な削減方法を検討して行きます。効率的な収集運搬については、一般廃棄物処理基本計画、実施計画等で排出者の責務に関して明確に記載することで、事業への理解、協力を得ていきたいと考えます。	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 環境課

NO	115	資源化率		評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	リサイクル推進事業			地域環境委員会等の協力により、資源物の分別や排出方法を指導し、各地区における分別の徹底、資源化率の向上を目指します。	
事業内容	一般廃棄物の分別排出の徹底を推進し、適正な資源分別収集・運搬・処理により資源化率の向上を図る。			課題と改善策	
事業費	72,194千円	活動指標 (折線グラフ)	資源物の排出量 (目標2,100トン:実績1,723トン)	達成率	【課題】 ネット排出と収集袋での排出による2種類の方法により行われている排出を統一し、資源物の質の向上と、収集運搬業務の効率化を図ることが必要と考えます。
				B	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	資源化率 (目標24%:実績19%)	達成率	【改善策】 公民館等の拠点回収への統一に向けて住民の理解を求めていきます。
				B	

NO	116	ごみ及び資源物収集袋 作成枚数		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	分別収集マニュアル、収集袋等作成事業			分別の徹底を図るため、分別マニュアルについては随時更新を行います。ごみ収集袋については、廃プラスチック適正処理の考えに基づき材質、サイズの変更を考えていきます。	
事業内容	分別マニュアルの作成、収集袋の作成を行い、ごみの適正な分別の徹底や減量化・資源化を図るとともに効率的な収集体制を確立する。			課題と改善策	
事業費	12,139千円	活動指標 (折線グラフ)	ごみ及び資源物収集袋 (実績2,730枚)	達成率	【課題】 ごみ収集袋の規格変更については、販売価格の変更を行う必要があります。
				-	
担当課	生活環境部環境課	成果指標 (棒グラフ)	生活系一般廃棄物収集運搬量(可燃・不燃) (目標5,800トン:実績7,391トン)	達成率	【改善策】 分別の推進策として、外国語版マニュアルの作成を行います。小サイズのごみ袋の導入、販売を行い、その後に材質及び販売価格の変更を行う考えであります。
				B	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 上下水道施設課

NO	117	<h3>配水管布設計画 進捗状況</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	施設整備事業(簡易水道事業)				<p>本市の水道施設は、自己水源91箇所、企業団受水池15箇所、配水池98箇所、導送配水管約1,039kmを有しています。将来にわたり、健全な水道を次世代に引継ぐためには、現有資産の状況を適切に把握し、長期的視点に立ち、水道施設全体のライフサイクルコスト全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設の資産管理(アセットマネジメント)を実施する必要があります。</p> <p>事業を継続することにより、漏水等の無効水量減少を促進し年間給水量の抑制により水道水の安定的な供給を図ります</p>	
事業内容	水の確保による普及整備効果のため、簡易水道統合整備事業を活用し、水道施設(水源・浄水場・配水池)の新設、導水管・配水管の布設及び水道施設遠隔監視システム整備を実施し、水道水の安定供給を図る。				<p>課題と改善策</p> <p>【課題】 中長期的財政収支に基づき施設の更新等を計画的に実行することが不可欠です。さらに、水道事業は受益者負担を原則としており、水道事業者は水道利用者の理解を得ながら、更新費用を確保し事業を進める必要があります。</p> <p>【改善策】 平成28年度から平成30年度の3か年の継続委託で北杜市水道事業中長期整備計画及びアセットマネジメント策定業務を行っています。今後、計画的な施設更新、統廃合、資金確保の長期的な見直しを立て、安定した持続可能な水道事業の運営を進めます。</p>	
事業費	143,574千円	活動指標 (折線グラフ)	配水管布設計画における進捗状況 (目標94%:実績97%)	達成率	A	
担当課	生活環境部上下水道施設課	成果指標 (棒グラフ)	年間給水量における有効率 (目標65%:実績67%)	達成率	A	
NO	118	<h3>下水道管布設距離</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	社会資本整備総合交付金・汚水処理交付金事業				<p>公共下水道事業計画に基づき速やかに施設の更新及び排水管路・各戸公共柵の設置を遂行します。</p>	
事業内容	処理施設の長寿命化を図るための更新工事及び統廃合に向けた増設工事の実施。 し尿と生活排水を汚水処理場で処理するため、排水管路を新設し、各戸に公共柵を設置する。				<p>【課題】 事業計画内の地権者及び周辺地域の事業への同意を得る必要があるが、地権者の中には相続等により土地所有者が不特定である等の状況が想定される場合があります。地域の協力により速やかな工事執行が不可欠となります。</p> <p>【改善策】 地元との協議を綿密に行うほか工事発注時期を早期するなど工事の速やかな実施に努めます。</p>	
事業費	270,657千円	活動指標 (折線グラフ)	地域再生により管渠布設状況 (目標770m:実績1,379m)	達成率	A	
担当課	生活環境部上下水道施設課	成果指標 (棒グラフ)	下水道処理人口普及率 (目標64%:実績63%)	達成率	B	
NO	119	<h3>認可区域内水洗化率</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	施設整備事業(農業集落排水事業)				<p>市内には農業集落排水処理場26施設が稼働しています。また、農業集落排水施設とは別に公共下水道処理場13施設が稼働しています。農業集落排水処理場12施設を稼働率に余裕のある公共下水道処理場に統廃合し、汚泥処理費、電気料等の施設維持管理に係る経費の縮減を図る必要があります。</p>	
事業内容	し尿と生活雑排水を汚水処理場で処理するため、対象区域内の下水道の管路整備を行う。				<p>【課題】 施設の統廃合及び長寿命化を推進するため市内26施設の現状の把握及び施設周辺を含めた問題点の集約が必要です。</p> <p>【改善策】 処理場の更新工事及び統廃合による処理施設の集約を見据えた現況確認の実施します。</p>	
事業費	5,603千円	活動指標 (折線グラフ)	下水道整備事業 工事進捗率 (目標100%:実績100%)	達成率	A	
担当課	生活環境部上下水道施設課	成果指標 (棒グラフ)	認可区域内水洗化率 (目標80%:実績78.87%)	達成率	B	